

地域の力で、災害に強いまちへ

防災士

第二号

2024
Vol.002

区民のために活躍する
防災士の活動を紹介



● 地域で活躍する防災士の活動

～災害に備える免許不要の無線情報網構築支援～

● 女性防災士へのインタビュー

～千駄木2丁目西町会伊東静香さん～

● 防災士になるためには

～年齢、性別関係なく防災士取得募集中～

地域で活躍する防災士の活動

～災害に備える免許不要の無線情報網構築支援～

林町南町会

富部 哲也 氏

☑文京区アマチュア無線局
災害非常通信連絡会 会長



平素からの取り組み ～災害と情報網について～

災害時に重要なのは正しい情報を得て必要な人に届けることかと思います。皆さんは災害に備えて地域でどのような連絡手段をお持ちでしょうか？

スマートフォンと SNS は非常に有効な連絡手段ですが、災害時に基地局が機能していないと使うことはできません。無線機（トランシーバー）はその点一つの機器が基地局ですのスマートフォンが使えない環境でも有効で、万が一スマートフォンが使えない時の補完手段となります。無線というとアマチュア無線を思い浮かべ免許が必要と思われるでしょうが、今はデジタル簡易無線という、無線免許不要で誰でもどのような用途にも使える便利な無線機があります。私は防災士資格取得後に情報伝達の重要性を学び、無線技術を地域防災に活用できないかと考え避難所運営協議会向けの普及活動を始めました。現在までに 20 余りの団体へ導入と訓練提供などの支援を実施しています。

デジタル簡易無線を装備するには

デジタル簡易無線機の購入は防災備品として都や区の支援があります。以下の手順で装備できます。

- ① 機器選定と購入（4 台程度導入がお勧め）
- ② 総務省登録（免許は不要ですが登録は必要）
- ③ 訓練（初歩的なものから高度なものまで提供）

機器の概算は 4 台で 12 万円程、登録から使用開始までは半月程度を想定して下さい。事前に効果確認できる機材などで試用もできますので、防災士が主体となって効果を判断の上計画導入して下さい。

読者への一言

～地域への補助通信手段導入を応援します～

防災士は基本的に平時の内に災害に対する準備を行うことが主たる活動と考えます。無線機をどのように活用するかは、地域の防災を担う防災士の方が一番ご存じかと思えます。私共は過去の経験に基づき地域の補助通信手段導入を応援致します。

女性防災士へのインタビュー

防災士

伊東 静香 氏

☑千駄木二丁目西町会 企画部
☑Goonats 東京代表
☑本郷消防団第 5 分団所属
☑汐見地区防災士連絡会所属



Q1 防災士の取得のきっかけを教えてください

大阪出身で千駄木に引っ越した後、2018 年に発生した大阪北部地震の震源地が実家近くであったので友人や親族の安否が心配でした。その時、もし自分が被災したら家族や子どもを守ることはできるのかを考えるようになり、そこから防災について意識するようになりました。千駄木で地域のママ、パパと一緒に通学路の点検や自宅の備えなどを考える活動を行いました。そのような活動を行う上で、地域とのつながりが防災にとって大切だということに気付きました。防災士をとれば、地域とのつながりをもった防災に関する活動をしやすくなると思い、防災士の取得を考えました。

Q3 女性の視点をどのように生かすか教えてください。

避難所運営の中核には、女性に限らず様々な意見が取り入れやすい仕組みが必要だと思っています。ママは子どもがいるだけで平時から防災についての講座や訓練に参加しづらいので、子どもが預けられたり、子どもと一緒に参加できるなど工夫をしていきたいと考えています。

Q2 今活動されていることについて教えてください。

直近の 11 月に汐見小学校避難所運営訓練を企画しております。各町会長と話している中で、地域として防災に関してはやらなければならないがその他の行事で忙しく、避難所防災訓練まで細かく手がまわらないことがわかりました。そこで消防団や町会内の区議さんと協力して汐見地区 3 校合同での避難所訓練を企画しました。今日にいたるまで、避難所運営協議会で打ち合わせを行い訓練の準備を進めております。将来的には合同訓練を行いながら、防災士の方も防災士でない方も、防災に興味のある様々な人を巻き込んでいきたいと思っています。

Q4 読者の方に一言お願いします！

防災士取得のための講座は非常にためになりました。災害時に自分や家族を守る知識を得ることができます。防災士だから何かやらなければならないわけではありませんが、防災士として地域の方とのつながりづくりにも役立ちますのでぜひ取得を検討してみてください。

防災士になるためには

文京区では、地域防災力の向上のため、防災士の取得の補助や、その後のフォローアップをおこなっています。本号は防災士についての説明と、実際の活動の報告をメインとしています。

防災士とは？

防災士とは“自助”“共助”“協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人で、性別、年齢関係なく取得が可能です。

全国で 296,214 人（※2024 年 9 月末日時点）いて、文京区の補助を受けて資格取得をした方は

78 名います。

防災士の資格取得までの流れについて



資格取得費用全額補助!! 様々なフォローアップ

取得後のスキルアップ

防災士研修センターが実施する、研修の講習代を助成します。

防災士全体会への参加

区主催で、資格取得者を集め全体会を実施し、そこでよこのつながりを持つことができます。

地域やマンションの防災リーダー

防災に関する知識と実践力を身に付け、地域やマンションの防災リーダーとして認められます。

申請について



申請等の詳細は
区 HP をチェック!

文京区 防災士 検索



区 HP



お問合先

文京区総務部防災課
地域防災担当
電話：03-5803-1746